

小規模夜間定時制高校にあって 単独校での出場にこだわり 全員野球でつかんだ夏の舞台

全国大会出場

8月15日(月)~18日(木) 東京都 明治神宮球場 他

優勝できる戦力が他校よりも優っていたわけではない。でも、橘定野球部には頂点に立とうとする努力とチーム力があつた...

夕手スポ

昨秋 目標の実現が容易なことではないことは誰もがわかつていた

橘高等学校定時制 運動部通信 2022.6.24 第110号



横井華音(3年)



三浦翔(4年)



小森愛里(4年)



矢部和真(4年)



松岡幸騎弘(1年)



大石優希(3年)



小俣愛斗(1年)



Photo: 高杉美羽(OG)・澤村亜蓮(4A)・島貴敬太先生

決勝戦は、初回から積極的な攻撃で得点を重ねた。矢部和真が走り打ちの巧打で出塁すると、四球と盗塁を絡めながら、松岡幸騎弘の三塁打や小森愛里のツーランスクイズなどで5点を先制。二回には、三浦翔の二塁打、松岡の二塁打、三浦翼の本塁打と上位打線に長打が生まれるだけでなく、大石優希のバントヒットや小森のタイムリーヒット、そのタイムリーヒット、そして、積極的な走塁で11点を奪い勢いにのり、点差が開いた三回以降も気を緩めることなく、機動力を活かした自分たちの野球を着実に実践し続け得点を重ねた。矢部が二打席連続バントヒットを決めると、さかさず二盗。この日矢部は、キャッチャーという過酷なポジションながらも、一番打者を務め、9つの盗塁を決めて相手の守りを揺さぶり続けた。間瀬智弘も吉田侑生も、ヒットや内野

SPEED 137 km/h



三浦翼(4年)

MAX137kmの速球で19奪三振

安打を放つと、二盗、三盗と積極的に走りホームにかえる。三浦翔の3本の長打、松岡と三浦翼のそれぞれ本塁打を含む4本の長打、8打席中7回の出塁を果たした大石の三塁打など、チャンスの中で長打が生まれ、効果的に得点を重ねた。横井華音の公式戦初ヒットかと思われた快心の一打はセカンドライナーと好守に阻まれたが、走塁面でも昨秋から取り組んできた成果を発揮した。完投したエース三浦翼と矢部のバッテリーはMAX137kmのストレートとキレのある変化球を巧みに使い、相手打線から19個の三振を奪った。優勝できる戦力が他校よりも優っていたわけではない。でも、橘には頂点に立つという努力とチーム力があつた...

〈顧問 中島克己〉

優勝

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H	E	TIME
橘	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2			3:58
橘	5	1	2	1	0	1	X	3	1	2			



チーム一丸となって「完全燃笑」できた選手権大会 温かく心強い応援をありがとうございました 令和4年6月19日(日) 等々力硬式野球場

第59回神奈川県定通制 軟式野球選手権大会 最優秀選手賞 三浦翔



佐藤芽生(2年)



吉田侑生(1年)



全力疾走が内野安打を生む



相澤奨吾(3年)

仲間を勇気と笑顔を生み出す最強のムードメーカー



間瀬智弘(1年)

打って走って完全燃笑



間瀬智弘(1年)